



返礼品として提案していただきたい。また、ふるさと納税コンシェルジュ2名には、市内の物やサービスをよくみていただき、商品化できるようブラッシュアップしていただきたいと思う。

《大野副市長》

ふるさと納税の使い道ごとの実績を見ると、似たような名称の使い道があり、他市に比べて使い道の数が多いと思うが、使い道の追加や整理はどういったタイミングで行っているのか。

《未来創造部長》

以前、各部局に使い道のアイデア等を照会させていただいた。その回答を参考に、寄附者に分かりやすくかつ幅広い事業に寄附金を充当できるよう名称変更などを行い、今月に入って、使い道の整理を行ったところだ。今回の実績は6月末までのものとなるため、使い道変更後の実績についても後日共有させていただく。MaaSなどタイムリーな事業を周知し、充当していきたいと考えているため、使い道についても随時検討していく。

《大野副市長》

ふるさと納税は、返礼品目当てで寄附を行う方が多いと思うが、その中でも使い道に魅力的な事業があれば、前橋市にふるさと納税しようという機運が高まることもあると思うため、是非検討いただきたい。また、事業自体をより発信する場合には、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用することが効果的であると思うため、こちらも引き続きお願いしたい。

《未来創造部長》

大野副市長の話のとおり、返礼品目当てで寄附を行う方が多いため、返礼品の魅力が高まるよう、引き続き関係部局と協力し、返礼品の拡充に力を入れていきたい。また、使い道についても各事業課と連携し発信することで、本市の事業のPRも行っていきたいと考えている。

## (2) 夏の Digi 田甲子園群馬県代表 (No.10) への投票について (未来創造部)

《市長》

ころとんが、ゆるキャラグランプリで全国29位となった際に、前橋市のシティプロモーションとして多くの方に協力をいただいた。Digi 田甲子園への投票を通じて、前橋の取組をプロモーションできるため、これもシティプロモーションに繋がる機会になると思う。タクシー関係の事業者や障がい者の方など関係者や関係団体に協力を呼び込めるようチラシの作成や SNS 発信を積極的に行い、営業活動を行っていただきたいと思う。

【総括】

《教育長》

ふるさと納税の説明をいただいたが、サービスも返礼品にできるという観点で考えると、色々なコンテンツを考えることができるのではないかと感じた。るなばあくの年間

パスポートの話があったが、似たような事例が教育委員会でも検討できると思うため、今後積極的に検討していきたい。

また、企業版ふるさと納税については、今後もPRに協力をさせていただきたい。教育委員会では多くの寄附を受け入れているが、受け入れるにあたってはどのような事業に活用したか、説明責任を果たす必要があると考えている。説明をすることで、寄附いただいた企業の社会貢献活動のサポートや、次の寄附に繋ぐことができると考えている。未来創造部のご理解・ご協力をいただきながら、企業版ふるさと納税の受け入れに繋げていきたいと考えている。

《市長》

教育長のお話しであったように、寄附受け入れ後の公開責任については、寄附の継続性や顧客の納得にも繋がるため、とても大切なことであると思う。ふるさと納税は、色々なサービスや物を商品化するという一つのきっかけになると思うため、是非検討いただきたい。

また、これまで不要だと思っていたものや諦めていたものが、人によっては価値のある重要なものとなるケースがある。「旧富士見村衛生センター」の閉鎖されたし尿処理施設をサバイバルゲームのバトルフィールドに活用したいという担い手を移住コンシェルジュが発見した。これは、誰かの手によって、放置されていたものが価値のあるものになった事例である。不要だと思っていたものや諦めていたものについて、価値のあるものになる可能性があることを念頭におき、担い手を見つけるアクションを是非行っていただきたい。

以上

\* 今後の庁議開催予定

開催日	開催時間	場所
8月9日(火)	午前9時00分	WEB
8月23日(火)	午前8時45分	WEB
9月7日(水)	午後2時00分	WEB

7月の定例記者会見は29日(金)

8月の定例記者会見は10日(火)、26日(金)それぞれ午後2時00分から開催します。